



「未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル-タラノア Japan」  
気候変動への取り組み事例（ストーリー）

大智化学産業株式会社

「『資源循環型ビジネスモデル』で脱炭素社会への挑戦」

<http://www.ohtomo-chemical.co.jp/>



## 質問1 – 我々はどこにいるのか

パリ協定および1.5°C/2°C目標の達成に向けて、これまでに実施した気候変動対策やその成果について記述してください。

今年度より、気候変動における調査を我々の活動との結びつけを調査してきました。その一環として、「COOL CHOICE」への賛同、Japan-CLPへ賛助会員として加盟等、私たちに出来ること、これからはなくてはならないことを勉強しています。

油性製品ではなく、水溶性製品へ転換することにより、燃焼廃棄による炭素増を防止し、更に顧客使用された水溶性製品を再生することにより、国内では廃棄ゼロ、資源循環型ビジネスモデルを展開しています。

## 質問2 – どこへ行きたいのか

パリ協定および1.5°C/2°C目標の達成における中長期のビジョンや目標について記述してください。

我々が寄与している業界は半導体、電子デバイス等の先端産業であり、今後も世界（人々）にとっても重要な分野です。これらの産業は、例えば電気自動車などに重要なコンポーネントを供給する事ですが、更に我々の技術・製品により炭素削減に寄与することで、全体としての炭素削減量は大きなものになります。

特に目指すべき姿は国内では既に実施している『資源循環型ビジネスモデル』における海外展開です。

世界へ広めることにより、更なる脱炭素への一助となるように活動していきたいと考えています。

例えば、「切る」製品については再生した場合、再生しない場合と比較すると「約6分の1」のCO2排出量に減らせることが分かっており、人々の進化と共に環境への影響を常に意識を高める活動を広めたいと考えます。

## 質問3 – どうやって行くのか

パリ協定および1.5°C/2°C目標の達成のための取り組みのなかで、これまでに得られた具体的な解決策や経験、さらに今後実現したいアイデアについて記述してください。

「カーボンプライシング」等脱炭素化ルールをしっかりと学び、把握、そしてアピールすることにより、『資源循環型ビジネスモデル』を顧客と共に作り上げたいと考えています。